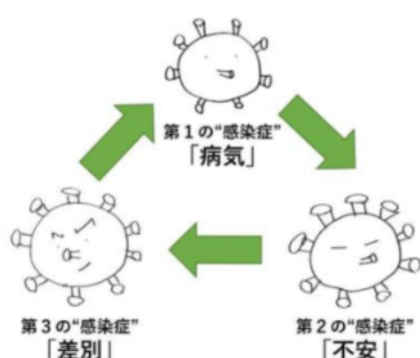


# ひまわり



令和2年11月13日(金)

## 3つの感染症



先日来、体育大会・文化の集いといった大きな行事が短期間で行われました。3年生では、これらに実力テストと修学旅行も加えた怒濤の2週間でした。

各行事を終えて、それぞれの学年では、感想を書くなど取組の振り返りをしたことでしょう。それぞれの取組の成果と課題を明確にして、今後の学校生活にいかしていきましょう。

さて、そろそろ冬の足音が聞こえてきました。新型コロナウイルス感染症は第3波を迎え、感染者数は全国で増加の一途。大阪の罹患者も過去最高を記録しま

した。私たちは、コロナ下の生活に順応した部分もありますが、だからと言って感染防止対策を怠ってはいけません。何事においても大切なことは基本を守ること。感染防止においては、「こまめな手洗い」「マスクの着用」「人混みを避ける」「十分な睡眠」「十分な栄養」「ソーシャルディスタンス」といった基本事項に留意しましょう。

今年3月、日本赤十字社が「新型コロナ感染症の3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」というホームページをアップしました。その中で、新型コロナウイルスの恐さとして「3つの“感染症”の顔」というものを示しました。

第1の感染症は病気そのもの。「感染→肺炎→重症化」という道筋に危機感をいだかなければなりません。大切なことは、感染を防止することです。

第2の感染症は「不安と恐れ」です。ワクチンや特效薬が開発されていない中で、強い不安や恐れを感じている人が多くいます。科学的根拠に欠けるネット情報に、多くの人が振り回されました。私たちは、このウイルスに対して正しく恐れることが大切なのです。

第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。不安や恐れは、人間の生き延びようとする力を刺激します。感染者を嫌悪の対象とし、偏見・差別することで自分から遠ざけることで人は安心感を得るという精神構造を持っています。

この3つのうち、社会生活を送るうえで、第3の感染症がもっとも深刻な問題です。第3の感染症を防ぐためには、皆さんが「正しい情報」を知るとともに、「差別的な言動」をしない、「差別的な言動」に同調しないことが大切になってきます。

この感染症との戦いは、長期戦になることが予想されています。だからこそ、「嫌悪・偏見・差別」の意識を自分の心の中から消すことが大切なのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

